

実習内容一覧表

(専攻科介護実習Ⅱ)

《 特養 or 老健実習① 》

(専攻科1年時) 12日間

令和3年9月 6日(月)～9月 9日(木)

9月13日(月)～9月16日(木)

9月20日(月)～9月23日(木)

※10日(金)・17日(金)は帰校日

1. 実習目標

- (1) 施設の概要と利用者の一日の生活の流れを知る。
- (2) 介護職の業務内容、及び介護の役割について理解する。
- (3) サービス利用者の基本的な日常生活援助について学ぶ。
- (4) 様々な状況の利用者とコミュニケーションを図る。
- (5) サービス利用者の情報収集、アセスメントの方法を学ぶ。

2. 実習内容

- (1) 高齢者施設の意義と役割
 - ①特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)のサービス内容
 - ②どのような人が利用しているか
 - ③介護職の業務内容、支援のあり方
- (2) 記録の書き方と活用
 - ①記録の意義と目的
 - ②記録の書き方
- (3) 生活支援
 - ①コミュニケーションの基本的技術
 - ②環境整備
 - ・室内・室外の清掃・整備
 - ・ベッドメイキングとシーツ交換
 - ③食事介助
 - ・多様な食事形態
 - ・安全な食事介助
 - ④身じたくの介助
 - ・衣服の着脱
 - ・整容の介助
 - ⑤清潔保持・入浴介助
 - ・浴室の環境整備
 - ・プライバシーの保護
 - ・清拭の方法
 - ⑥排泄介助
 - ・排泄時の観察
 - ・トイレ誘導の方法
 - ⑦体位変換・ポジショニング
 - ・安楽な姿勢のとり方
 - ・ボディメカニクスの活用

⑧移動・移乗介助

- ・車いす介助
- ・歩行の見守り

⑨レクリエーション

- ・レクリエーションの基本的技法
- ・創作活動を取り入れたレクリエーション

(4) 介護過程の展開

①利用者の情報収集・アセスメント

《 特養 or 老健実習②・③ 》

(専攻科2年時) 計11日間

②令和3年5月20日(金)、27日(金)、6月3日(金)
6月10日(金)、17日(金)、24日(金)

計6日間

③令和3年9月2日(金)、9日(金)、16日(金)

9月23日(金)、30日(金) 計5日間

1. 実習目標

- (1) サービス利用者の心身の状況に応じた日常生活援助を行う。
- (2) 他職種役割を知り、チームケア及びチームアプローチの意義と連携の重要性を学ぶ。
- (3) 施設管理の概要およびリスクマネジメントについて学ぶ。
- (4) 医療的ケアの内容、役割を学ぶ。
- (5) サービス利用者の生活課題を発見し、介護計画を立案する。

2. 実習内容

- (1) 高齢者施設の意義と役割
 - ①利用者の尊厳を守る介護
 - ②利用者の自立を支援する介護
- (2) 記録の書き方と活用
 - ①申し送りの見学
 - ②記録用紙の種類
- (3) 生活支援
 - ①認知症の利用者とのコミュニケーション
 - ②環境整備
 - ・室内・室外の清掃・整備
 - ・ベッドメイキングとシーツ交換
 - ③食事介助
 - ・身体機能障害のある利用者への介助方法
 - ・経管栄養の実際
 - ④身じたくの介助
 - ・麻痺や拘縮のある利用者への介助
 - ・整容の介助
 - ⑤清潔保持・入浴介助
 - ・口腔の清潔と義歯の取り扱い
 - ・中間浴・機械浴の介助
 - ⑥排泄介助
 - ・おむつの当て方・交換方法
 - ・トイレ誘導の支援

⑦体位変換・ポジショニング

- ・ベッド上での体位変換
- ・クッションの使い方

⑧移動・移乗介助

- ・手引き歩行
- ・杖歩行の介助

⑨レクリエーション

- ・集団レクリエーションの技法
- ・音楽を取り入れたレクリエーション

(4) 医療的ケア

- ①喀痰吸引の実際
- ②経管栄養の実際

(5) 介護過程の展開

- ①利用者の生活課題の発見
- ②介護計画の立案

⑦体位変換・ポジショニング

- ・ベッド上での体位変換
- ・利用者の状態に応じたポジショニング

⑧移動・移乗介助

- ・移乗の介助
- ・福祉用具を活用した移乗方法

⑨レクリエーション

- ・個別レクリエーションの技法
- ・リハビリを取り入れたレクリエーション

(4) 医療的ケア

- ①喀痰吸引の実際
- ②経管栄養の実際

(5) 介護過程の展開

- ①介護計画の実行
- ②介護計画のモニタリング・再アセスメント
- ③介護計画の評価

《 特養 or 老健実習④ 》

(専攻科2年時) 20日間

令和3年10月3日(月)～10月28日(金)

※(土・日除く)

1. 実習目標

- (1) サービス利用者とのコミュニケーションを通してニーズを把握する。
- (2) 個別ケアを通して実践的な介護技術の定着を図る。
- (3) 介護職員の健康管理と資質向上の取組について学ぶ。
- (4) 介護計画を実行し、モニタリング・再アセスメントを行う。
- (5) 実施した介護計画の評価を行う。

2. 実習内容

- (1) 高齢者施設の意義と役割
 - ①緊急時や終末期の対応
 - ②介護従事者の倫理
- (2) 記録の書き方と活用
 - ①情報の共有
 - ②通信端末を利用した記録
- (3) 生活支援
 - ①非言語的コミュニケーション
 - ②環境整備
 - ・室内・室外の清掃・整備
 - ・ベッドメイキングとシーツ交換
 - ③食事介助
 - ・感覚機能障害のある利用者への介助方法
 - ・嚥下困難者への介助方法
 - ④身じたくの介助
 - ・麻痺や拘縮のある利用者への介助
 - ・寝たままの利用者への介助
 - ⑤清潔保持・入浴介助
 - ・部分浴の方法
 - ・褥瘡予防
 - ⑥排泄介助
 - ・ベッド上での排泄介助
 - ・ポータブルトイレの使い方